

平成4年度当初予算

老人デイサービスセンターや九町に公営住宅の建設を計画!

生きがいと魅力ある町づくり

五十一億円

三月定例町議会が、三月十二日に開会され、中元町政が発足して、初めての平成四年度当初予算が決まりました。その総額は、約五十一億円。前年度に比べ、約五億円あまり増えています。なかでも、老人デイサービスセンターや九町地区に公営住宅を建設することなど、保健・福祉面を重視した積極投資型予算となっています。

一般会計

入るお金

入ってくるお金から見てみますと、総額で三十四億八千二百三十万円。昨年と比べ、三億八千九百九十九万円の増となっています。

項目別に見ると、最も大きな財源は町税で十五億二千四百九十九万円、全体の四三・一%を占めています。しかし、町税の大半を占めている伊方発電所関係の償却資産税が年々減少していくため、今

使うお金

二番目は、地方交付税で五億九千九百三十六万円、全体の十七・二%を占めています。これは、町税などの自主財源が少ない市町村に対し、その町村にあった行政運営が行なえるように国から交付されているもので、今年も昨年に比べ一億二千三百九十六万円増加しました。

次いで国庫支出金の三億五千三百五十四万円、県支出金の三億一千六百六十九万円、繰入金、財産収入などの順になっています。

二番目は、福祉関係の民生費で六億三千三百三十三万円。主な事業としては、老人デイサービスセンター建設費用として、一億七千三百九十三万円。次いで、農業振興や漁業振興などの農林水産業費で五億六千七百五十五万円。

特別会計

老人保健会計

保健受給者の増加と医療費の高額化のため前年度より一億円あまり増え、六億一千八百二十七万円になりました。

水道事業会計

維持管理費などの収益的支出が一億五千四百七十八万円。施設建設改良費などの資本的支出が一億三千三百五十五万円。両方を合わせると一億六千七百九十三万円となり二百三十二万円あまり減りました。

また、その他の特別会計は右欄のとおりとなっています。

各会計の予算状況

Table with 3 columns: Accounting Type, Budget (平成4年度), and Change Rate (増減率). Rows include General Account, National Insurance, Business, Elderly Health, School Lunch, Harbor Improvement, Housing, Waterworks, and Total.

消防費

消防施設維持補修 80万円
八幡浜地区施設事務組合負担金 6808万円

教育費

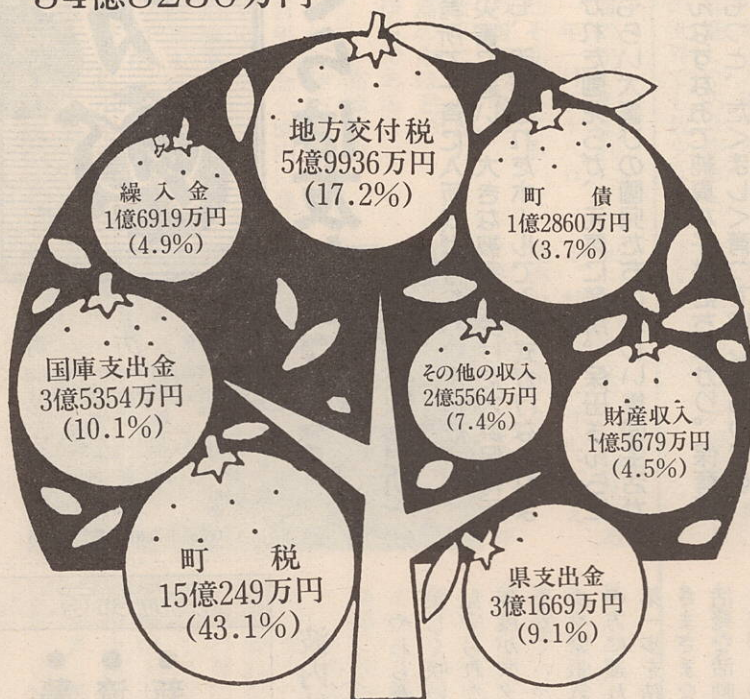
小・中学校施設維持補修 1000万円
電算機導入経費 157万円
町民ホール開催委託 177万円
人材育成事業 430万円

災害復旧費

大成漁港災害復旧事業費 2557万円

入るお金

34億8230万円



主な事業

【総務費】

- 町勢要覧ミニ版作成費 83万円
生活文化女性塾新規事業 40万円
伊方町総合計画経費 40万円
交通安全施設工事費 64万円
町政モニター経費 14万円
地区自治活動促進費 4448万円
参議院議員通常選挙費 333万円
愛媛県海区漁業調整委員選挙費 100万円

【民生費】

- 心身障害者福祉給付金 434万円
重度心身障害者医療費助成 696万円
国保特別会計繰出金 3578万円
老人保健特別会計繰出金 1926万円
国保事業基盤安定繰出金 3015万円
敬老会補助金 266万円
長寿祝金 352万円
老人クラブ助成金 267万円
老人デイサービスセンター建設費 1億7393万円
母子家庭医療費扶助 177万円
児童手当給付 2205万円

【衛生費】

- 救急医療対策事業 276万円
霊柩車業務委託経費 193万円
零歳児医療助成 181万円
成人病検診委託 835万円
胃集団検診委託 388万円
婦人集団検診委託 157万円
肺がん検診委託 73万円
大腸がん検診委託 100万円
歯科診療所維持補修 542万円
八西衛生事務組合負担金 3104万円
ごみ処理業務委託 3188万円
水道事業会計補助金 1000万円
小規模簡易下水道整備 108万円

【農林水産業費】

- 天災資金利子補給 1223万円
被災農家特別資金利子補給 1153万円
農道開設補助 200万円
地元負担軽減元利補給 1007万円
農林漁業資金元利補給 4369万円

- 伊方南土地改良総合整備事業 6080万円
農村基盤整備事業 6080万円
国営南水事業負担金 1594万円
農業水利推進補助金 401万円
大成漁港局改良事業 7000万円
豊の浦漁港改修事業 9000万円
田之浦漁港改修事業 4000万円
九丁漁港海岸保全事業 4000万円
近代化資金利子補給等 594万円

【商工費】

- 町観光協会 213万円
中小企業振興資金利子補給 375万円
商工会補助 600万円

【土木費】

- 県工事建設事業負担金 1500万円
道路維持補修費 1131万円
伊方港改修費 2億5000万円
公営住宅建設 3923万円
がけ崩れ防災対事業 500万円

よりよい社会を願って

- 明るいあいさつをしよう
- 時間を守ろう
- 町を美しくしよう

ふれあい

いかた

教育だより

〔発行〕
伊方町教育委員会
〔編集〕
社会教育課
〔印刷〕
豊 豫 社



桜の花が満開となった四月八日、町内の小中学校では一斉に入学式が行われました。
小学校では、百二人（男四十五人、女五十七人）の児童が入学。又、中学校には九十二人（男四十七人、女四十五人）の生徒が入学し、それぞれが新一年生として、学校生活をスタートしました。

小さな胸に

大きな希望

小中学校で二斉に入学式

豊之浦小学校（阿部博文校長）では、七人の児童を迎えて入学式が行われ、お母さんに手を引かれた一年生は、上級生が拍手で迎える中、元気に入学。一人ひとりの名前が紹介されると、「ハイ」と大きな声で返事しました。

豊之浦小学校（阿部博文校長）では、七人の児童を迎えて入学式が行われ、お母さんに手を引かれた一年生は、上級生が拍手で迎える中、元気に入学。一人ひとりの名前が紹介されると、「ハイ」と大きな声で返事しました。初めに阿部校長が、「入学おめでとう。今日から皆さんは一年生になりました。これからは、三つのことを約束して下さい。①元氣よくあいさつをしましょう。②早寝、早起きをしましょう。③学校へ行く準備は、自分でしましょう」とあいさつがありました。来賓祝辞の後、児童を代表して中川章くんが、「今日から皆さんは、僕達の仲間です。勉強や遊びで判らないことがあったら何でも聞いて下さい。そして、みんなと一緒に楽しい豊之浦小学校にしましょう。」と歓迎の言葉を述べました。式が終わると、さっそく担任の先生の案内で教室に入り勉強の仕方や学校でのきまり等のお話に熱心に聞き入っていました。

平成4年度
**伊方町教育会
総会開かれる**

四月十七日、町内の各小中学校の教職員、関係者ら約百名が参加して、平成四年度教育会総会が中央公民館で開かれました。

初めに、今回退職された加藤進氏（伊方中学校）に多年に亘る功績をたたえ、感謝状が贈呈されました。

続いて、今年の異動で町内へ配属された十五名の新会員の自己紹介がありました。

議事では、会務、決算報告が行われ、今年の活動方針では九月から「学校週五日制」の導入がされようとする情勢を踏まえ、伊方教育の充実進歩を図ろうと具体的に項目をあげて説明がありました。

役員選出では、教育会長に門田一成氏（水ヶ浦小学校長）が就任しました。



教職員ら約一〇〇名が参加

総会終了後、教育部会、教科外部会、青壮婦部会にそれぞれ別れ、児童生徒主体の教育実践について熱心に討議されていました。

去る三月二六日、二七日、伊方町生涯学習推進協議会では二三名（推進本部・委員・事務局他）が参加され、生涯学習先進地視察研修を実施した。

この視察研修は、伊方町における生涯学習をどのように推進していくべし、と、先進地である福岡県荏田町、田川市を視察したものである。

最初の視察先、荏田町立図書館は平成二年五月開館、図書九万二千冊、AV資料五千点を蔵書しており、ゆっくりとしたスペース、児童、AV展示室、先進地である福岡県荏田町、田川市を視察したものである。

退に伴い過疎化、人口の高齢化が進んでいるが、一貫して人づくり施策を講じ、昭和六三年には生涯学習推進本部を設置して四年目になる。田川市が生涯学習の推進に行政と市民が一体となって、積極的に動き出したのは、理事者の姿勢と田川市の再生のためには人づくりが基本であり、その実現には学習が必要であるとの考え方が行政にも、住民にもあつたと説明を受けました。

また、田川市では生涯学習まちづくりの行動計画が策定されており、まちづくりの課題及び今日の日程、方策が明示されています。生涯学習ま

**先進地視察で
研修を深める**

生涯学習推進協議会

ちづくりシンポジウム等も開催し、啓発にも力を入れていました。

今回、参加された委員もそれぞれの視察地における取組みに深く感銘を受け、今後の伊方町での生涯学習の推進策について熱心に話し合いながら帰路に着きました。

起源のナゾ

氏姓の起り

氏姓は古代には「うじかばね」と読み、朝廷から賜わり、家系や官職をあらわすものであった。源・平・藤・橘はその代表的な氏姓で、一般庶民にはなく名前だけであった。

明治維新後、氏姓の本来的意義はなくなったので、一八七〇（明治三）年九月、一般庶民（平民）にも氏姓（苗字）が許可され、以後、家系をあらわす名詞として永続となった。

光文書院
「起源のナゾより」

毎月第3日曜日は「家庭の日」です

5月のテーマ **“自然に親しもう”**

〔実践方法〕

- 家族そろって野や山に出かけ自然に親しもう。
- 庭木などの手入れをし、木や草木を愛する心を養おう。

古今亭志ん朝師匠を迎えて 江戸好み 伊予路縦断若葉寄席

5月17日
中央公民館にて



三味線漫談家の唯一若手として活躍中の三遊亭あす歌、の四名が出演し、江戸情緒たっぷりの巧みな話芸を披露します。

開催日程は次のとおりです。

○とき 五月十七日(日)

午後七時三〇分開演

○ところ 中央公民館

大ホール

○入場券 五〇〇円

入場券の申し込みは、中央公民館、町見公民館、婦人会へ問い合わせ下さい。

町見方面、有寿来地区にはバスを配車します。伊方越には午後七時〇〇分に出発し亀浦の順、加周には午後六時三〇分に出発し、二見、九町、町見公、豊之浦の順に停まります。

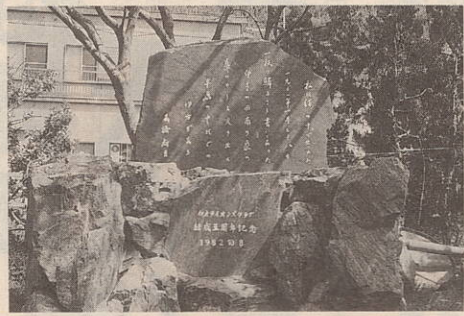
江戸落語の神髄に触れてもらおうと、愛媛新聞社と教育委員会が企画して「伊予路縦断若葉寄席」が開かれます。今回巡回する古今亭志ん朝は、昭和三十一年五代目古今亭志ん生に入門し、朝太の名で初高座。三十七年真打になり、二代目志ん朝を襲名。芸術選奨文部大臣新人賞、ゴール

ルデンアロー賞受賞。今、実力、人気とも落語界のトップ。古典落語に磨きをかけるとともに、俳優としても活躍しています。このほか、北宇和郡広見町生まれの林家源平。五十二年古今亭志ん朝師匠に入門し、着々と実力をつけ三代目に昇進した古今亭志ん朝。寄席の世界でも数少ない

口碑と立ちばなし ②④ 〔湊 浦〕

高橋新吉先生顕彰碑

私は海の中で生まれた一九〇一年一月二十八日一枚の鱗にそう書いてあった伊予の西南の象の鼻のように突き出た半島の中ほどの伊方である
高橋新吉
この詩碑は、伊方郵便局の隣の明治百年記念公園内に建てられている。
顕彰碑の裏面に、つぎのような碑文が刻まれている。
先生は、明治三十四年一月二十八日、伊方町小中浦にて父春次郎母マサの次男として生まれたが、当時の模様は表



記「海の中より」の通りである。幼時より向学心に燃え、読書力が旺盛であった。先生は青雲の志を抱いて単独上京した。刻苦勉勵の甲斐あり、十九才にして小説「焔をかぐ」が初入選し念願の文壇へ登龍する。
この頃タイズムに強く感応するが禅を知るや、やがてこれより離脱、禅詩人として格調の高い作詩活動を展開した。足利柴山老師に参じ、仏教の世界へ大きく進み、数多くの優れた詩集を発表した。その禅的詩風は国際的詩人としての位置づけを決定し、昭和四十七年には「定本高橋新吉全詩集」が芸術選奨文部大臣賞に輝いた。
また近時は、その書や墨画

にも異彩を放っており、これらの個展も開かれていた。加齢八十才(一九八二)にして詩集「空洞」を発売し、続いて全集も刊行された。その豊饒たる創作力は火山の噴出にたとえられる。伊方ライオンズクラブは、この偉大な文化人である郷土詩人を讃えるため結成五周年を記念して詩碑を建立し、永く後世に伝えることにした。
伊方ライオンズクラブ
高橋新吉先生は、昭和六三年(一九八七)六月五日、享年八六歳でした。

お国のたより 直行便



柿の木坂は……
「梅は咲いたが桜はまだかない」という小唄があるが、わが家の庭にも春が訪れた。昨年のは台風一九号による塩害により梅は申しわけ程度に花が咲いたが、いま可愛いらしい実をつけている。
メジロが蜜を吸い、花を散らして終わった。「梅にウグイス」というウグイスは春告鳥が似合うし、鶯宿梅という梅にも春告草の別名がある。
この間、街角サーチしていたらこんな風景が目に入った。昔から、田舎の庭先には、決まっているかのように、柿の木が橙、奥橙か梨の木か、何か実のなる木が必ずといってよいぐらいに植えられている。
たが、それも近年では、住宅事情からかめつきりへったように思う。物が豊富になったせいかもしれない。
歩いていたら、家の中から柿の木が出てくる。おそらく庭先に植えたものであろう。毎年、花が咲き赤く熟した柿の実が道行く人の心を和ませてくれる。大のファンの野鳥に、今年もプレゼントすることになろう。
ふるさと伊方にも、まだまだこのような風情のある庭が残っている。この柿の木も、石垣の上にしっかりと生き続けてほしい。昔から、桃栗三年柿八年は、芽生えから柿は八年たてば実を結ぶの意じゃそうなのわい。

職員紹介

佐々木光昭



「四月一日より町見中学校から派遣社教主事として社会教育課に勤務することになりました。普段は中央公民館一階におります。よろしくお願致します。」

短歌クラブ

- 色褪せし木蓮の花びらははらと風なき庭の青芝に散る
 - みどり子のやはき足裏こそばして春浅き日の日溜りにある
 - うす紅の牡丹の花の見頃なり雨より守りて傘さしかくる
 - 枝にさす餌食みにくるさまさまのバードウォッチング朝庭菜し
 - 宿乞へるヒツチハイクの若者ら礼の一言拝殿に残す
 - 秘めし想ひあたためればシクラメン蕾に紅濃き彩をにじます
 - 南海に水漬く屍となりし兄桜の丘の墓標海向く
 - 人襲ふホジロザメの捕獲作戦あてなき瀬戸に血の餌投げ込み
 - 若竹の如くに育てよ孫「達也」春駒童子の人形作りぬ
- 上野嘉子
宇都宮すみ
岡山綱子
菊池朱見子
是沢美那恵
梶田ミヨコ
梶谷千代子
武田峰生子
田中朝子

図書室 だより



平成三年度の図書室利用者総数は読書グループも含めて4176人、貸出し総数は5880冊と昨年度に比べて約一割増加しています。
新規図書購入数は、464冊で、現在整理中ですがおわかり次第、貸し出します。
読書グループ
募集について
中央公民館では、図書室利用者への便と読書人口の増加を図るため、読書グループを募集しています。
○グループは十人位が望ましいが、今のところ五〜六人もも認めます。
○グループには、世話役(代表者)を置き、大人から選ばれます。
○世話人は配本された図書を加入者に貸すときは、所定の貸出簿に記入します。
○図書は、お渡しする「図書目録」の中から一人五冊まで選べます。
○グループをつくられたらグループ名、世話人の住所、氏名、構成員の氏名と生年月日を書いて、中央公民館又は、町見公民館へ届け出下さい。
○配本区域は、伊方小学校区を除く全区域です。
○図書の配本は、二ヶ月に一回、世話人宅まで配本します。現在十二グループに配本し、利用して頂いています。皆さんもお気軽にお申込み下さい。

5月の行事

5月上旬	町見館長・主事会	(町公)
5月17日	若葉寄席	(中公)
5月19日	町青少年補導会総会	(中公)
5月20日	生活運動推進協議会 自治公民館連絡協議会	(中公)
5月中旬	ミセススクール 体育指導委員会 スポーツ推進員会議	(町公) (中公) (中公)
5月下旬	社会教育委員会議 公民館運営審議会 文化財保護審議会	(中公) (中公) (中公)